令和7年6月25日

古賀市議会
議長 渡 孝二 様

文教厚生常任委員会
委員長 古賀 誠視

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件について6月13日に委員会を開催しましたので、その審査結果を会議規則第110条の規定により報告します。

記

第33号議案 古賀市学校給食費条例の制定について

市立小中学校における学校給食費の公会計化に伴い、その取扱いに関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1. 条例の施行は、令和7年9月1日で、この日から市の会計に入るため公会計化は開始される。ただし、令和7年度は準備期間とし、徴収業務は引き続き学校に委託する。
2. 令和8年4月以降、徴収や督促などの業務は学校給食センターに移管され、学校の負担が軽減される。ただし、喫食状況の確認など一部業務は引き続き学校が担う。口座変更案内などで一時的な負担も想定されるが、ICT活用により軽減を図る。
3. 他自治体で公会計化に伴う滞納の増加が見られる点を踏まえ、支払い方法の多様化等により、滞納の抑制に努める。

【意見】

(賛成意見)

- ・これまで学校が担ってきた給食費の徴収・管理・督促は、教職員の大きな負担となっており、その軽減や業務の効率化、透明性の向上、保護者の利便性向上を目的に、公会計化を行うものである。今回の条例制定は、将来的な無償化にも備えるものであり、給食の安定提供に向けては、給食センターの体制強化にも取り組むよう求め、賛成。
- ・第一義的に給食に係る経費の透明化が進む点を評価している。収入と支出のバランスも明示されることになり、どれだけの賄材料を購入し、給食の質を維持・向

上させているかを把握できるようになることは、重要なメリットである。一方で、徴収主体が学校から市に変わること、全国的には未納の増加傾向が指摘されており、公平性や質の確保の観点から適切な対応が求められる。以上の点を踏まえ、賛成。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第 38 号議案 工事請負契約の締結について

古賀東中学校体育館等大規模改造工事を施工するため、一般競争入札により工事請負人を定めたので、その者と工事請負契約を締結するに当たり、市議会の議決を求めるもの。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1. 本事業の財源については、国の交付金ではなく起債を活用するものであり、他市において見られた交付金不採択による事業中止のようリスクはない。
2. 本件入札においては、応札が 1 社のみであった。理由の特定は困難であるが、提示した工期（1 年弱）について、事業者側の都合により対応が困難と判断された可能性があるかと推測している。
3. 市が工事を発注する際は、仕様書において、下請業者への発注や資機材・飲食物・消耗品等の調達について、可能な限り市内業者を活用する旨を明記しており、契約締結後の工程会議等においても随時指示している。今回の工事請負業者については、過去に受注した改修工事においても、市内業者を活用した実績がある。

【意見】

（賛成意見）

- ・ 一般競争入札が実施されたものの、応札が 1 社のみであった点は競争性の面やや疑問が残るが、当該業者は市内実績があり、仕様書にも地元業者の活用が盛り込まれている。実際、古賀北中学校でも地元業者が活用されていたことを確認している。地域の活性化と、児童生徒・教職員・地域住民のために最善の工事が行われることを期待し、賛成。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第 39 号議案 財産の取得について

古賀市小学校 3 校校舎 LED 照明導入に伴い、財産を取得するもの。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1. 取得内容は、小野小学校、花鶴小学校及び千鳥小学校の LED 化する校内照明器具であり、5 年間のリース契約により導入し、リース期間終了後は市へ無償譲渡される。
2. 契約金額には、LED 機器の購入費、設置工事費、及びリース期間中の保守管理費が含まれている。

【審査結果】

委員会は、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。